

「二次交通と観光」

Cさん：私は学生時代に京都にいました。京都では観光バスに乗る方もいますが、リピーターはその都度行きたいところをチョイスして、自分で回られているようです。例えば、高知でもMY遊バス・観光バスをいろいろと計画されているようですが、リピーターは同じコースで辿ることはないと思います。京都は交通網がかなり発達しているので行きたい観光地には、自分で計画して回れるようになっています。高知の場合、交通網がきちんとしていないので車で移動します。交通網がもう少しきちんとしていたら公共交通で回ってもらえるし、地元の人にとっても使いやすくなるのではないかと思います。それと、やはりリピーターとして来てもらえます。

大学生協には観光地のパンフレットがあって、そういうのを利用して学生時代に合宿や旅行に行っていました。残念ながら高知県のパンフレットはありませんでした。最近東京の生協へ行ってみても、やはりなかったです。そういうのを利用して、リピーターにつなげることもできるのではないかと思います。

知事： 高知県の観光パンフレットは、おそらく大学生協だけではなく、大手旅行代理店の旅行商品も含めてないと思います。四国（としての観光）が中心です。大河ドラマ「龍馬伝」の機会ですから、昨年3月くらいから徹底的に各旅行代理店などにもご協力いただいて、旅行商品づくりに努めました。昨年の10月から少し様子が変わっているはず。「龍馬伝」があるから、全社で高知県関係の商品を作ってくれました。今回来てもらって成績がよければ、今後も続ける話にもなると思います。大学生協は売り込みのターゲットになっていませんので、今後は生協の旅行部も営業のターゲットにしたいと思いました。

それと、高知へは車で来るお客さんが多いです。実際統計で調べてみますと、バスか自動車で来られる方が全体の9割です。これは、近隣の人しか来ていないということの意味します。四国・中国・近畿が約75%で、しかも日帰りが多いです。今、高知県は一般的に近場からマイカーで来て、ドライブする観光地になっています。だから、お金も落ちないし、観光によって栄えることもできてない。大切なことは、飛行機・JR・高速バスで遠隔地からお客さんをもっと呼ぶことです。ただ、長距離輸送型の公共交通機関で高知に来たら、そこから先の二次交通が大きな課題だと思っています。今回、何としても二次交通対策をやり抜かないといけない。裏返せば、高知県を全国からお客さんが来てくれる観光地にしたいという思いが強いです。

周遊バスはまちの中も回るようにしたところ、利用者が増えたようです。周遊バスだけでなく、JRは観光ガイドタクシーを複数の駅でやってくれています。一つの県であれだけたくさんやってくれるのは、高知県だけだそうです。それから、バスガイドツアーで回るタイプもあります。これからさらに、高知県の公共交通機関も二次交通としての機能をより一層発揮することが重要で、昨年からは協力してやっています。公共交通機関を活性化するためにも、やはり地産外商が欠かせないと思います。県内の人口が減っているから、観光客もターゲットにしないとダメです。二次交通としての公共交通に、例えば、バス・路面電車をしっかり組み込む仕組みづく

りを進めないといけないと思っています。その対策の一つが、ヤフーの路線検索です。バスも路面電車も今までは載っていませんでした。今回ヤフーの路線検索の中に入りましたので、全国の人がバスも路面電車も二次交通と認識されるでしょう。お客さんをたくさん呼べる観光地については検索できるようになっています。まだ完全ではありませんが、3月までに順次完成する予定です。